



日章学園九州国際高等学校校長便り 長月
 建学の精神：道義に徹し、実利を図り、勤労を愛す
 学園スローガン：**自分を磨け**
 学校教育目標：国際的視野と人間性豊かな心を持ち、自ら学び考え、自己の課題を解決できる生徒を育成する。
 令和6年(2024年)9月2日(月)校長 屋田伸仁



ファイト!

次勝てばよし



7月26日から8月11日まで**パリオリンピック**が開催されました。日本選手団の大活躍で、メダルは金20個、銀12個、銅45個を獲得しました。大会競技をテレビで観戦して、勇氣と感動をいっぱいもらいました。その中で、心を揺さぶられたシーンの一つは、**阿部詩選手**の柔道競技でした。女子52キロ級で大会2連覇を目指しましたが、2回戦一本負けしました。兄の阿部一二三選手と史上初となるきょうだいそろってのオリンピック2連覇を期待していたので、日本人の多くの人を感じたように、私もショックでした。詩選手が、試合会場を下りて、コーチに抱きついたまま大号泣で崩れ落ちてひざまづいている姿は今でも脳裏から離れません。同情する声がある一方、負けて大泣きする姿は情けないという声もあります。スポーツは勝負事で、勝ち負けは常にあります。試合で負けた選手のインタビューを見てみると、悔しさを滲ませながらも、心を切り替えて、次に向かって努力する決意を語る場面をよく見かけます。負けても、更に挑戦し続けるポジティブな姿勢はとても頼もしく感じます。詩選手も今回の負けを活かして、次のロサンゼルス大会では最強の選手として、復活してほしいと思います。「次勝てばそれでよし」です。

生徒の皆さんの中には心が折れると、いつまでも引きずってしまうタイプの人もいるでしょう。多くのスポーツ選手のように**逆境から心機一転してポジティブにがんばる**姿から学んでほしいと思います。

天災は忘れた頃にやってくる

8月8日16時43分頃に日向灘を震源とするマグニチュード7.1の地震が発生しました。同日、19時15分に**南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)**が発表されました。ここ、えびのでも大きな揺れを感じ、特に寮の建物にいた寮生の中には生まれて初めて地震を経験した留学生もおり、かなり怖かったようです。ところで、9月1日は「**防災の日**」です。1923年9月1日に関東大震災が起こったことに由来しています。また、この日は台風の襲来が多いとされる二百十日にあたります。「**防災の日**」に地震や台風の災害について考え、一人一人が日頃の備えを真剣に行うことが大切です。一方、「**天災は忘れた頃にやってくる**」という言葉があります。人は天災が起こった直後は、「もし次起こったら、このように行動しよう」と真剣に考えられるものですが、月日が流れるとその気持ちは薄れていくものです。台風と異なって、地震は今のところ予知できません。地震を必要以上に怖がらず、日頃からいつ起こっても、「**備えあれば憂いなし**」で準備しておくことがベストの地震対策だと思います。

大成功！えびの市民大学講座 in 日章学園九州国際高等学校

8月3日(土)にえびの市社会教育課主催の「**えびの市民大学講座**」が本校の図書室で開催されました。講師は私で、内容は、「**五色百人一首とコミュニケーションマジックを楽しむ**」でした。受講生に交じって留学生も参加しました。実際の様子については、社会教育課の感想の言葉を紹介します。

「授業参観やマジックの披露、さらに**五色百人一首とマジックのワークショップ**と、楽しく充実した学びができました。特に、留学生による流暢な日本語での歓迎あいさつに始まり、マジック披露やワークショップでもサポートをしていただくなど、留学生との交流の場がいくつもあったことで、留学生を身近に感じ、国際理解を深める貴重な時間になりました。また、受講生同士で楽しく交流もできました。各自制作してお土産にいただいたマジックグッズで家族が交流する姿も目に浮かびます。人と人がつながる百人一首とマジックの魅力を存分に味わうことができました。」

「**五色百人一首と手品のワークショップ**」をボランティアで実施します。希望される方は、本校までご連絡ください。☎(0984)35-3500

